

# ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名	プライド・リバティ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.042	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：プライド・リバティ**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離  番

4 インチ

研磨剤

**比較対照ボール：プライド・ダイナスティ**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ

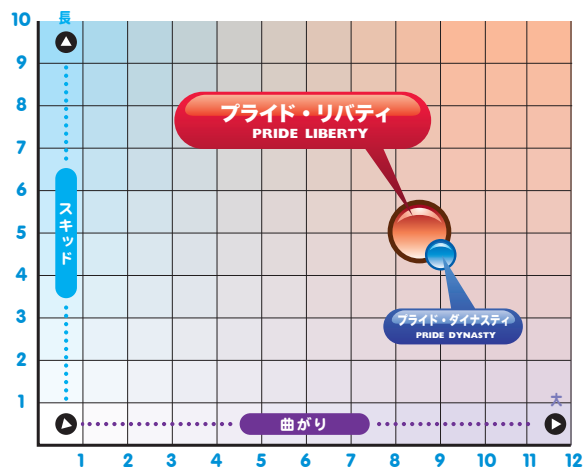
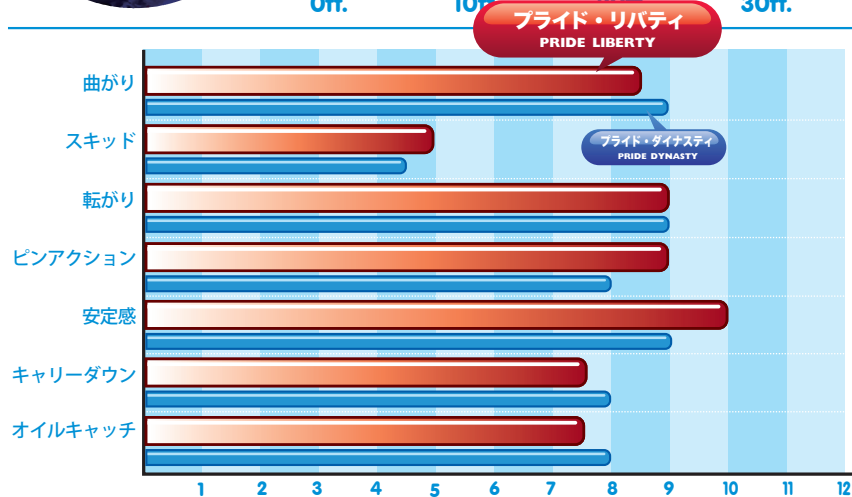
PAPからピンとの距離  番

4 インチ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



## ボールの評価

EJタケットの活躍によりMOTIV社のボールは注目を浴び、その活躍を後押しするように日本でもVENOMシリーズを継続的に使用できるよう通年販売が始まっています。そんな中、ボールテストにおいて、すべての領域でほぼ満点。今年のMOTIV社ナンバーワンボールと言っても過言ではなく、この先必ずやトーナメントやリーグ、大会において実績を上げるとおぼせるほどの、PRIDE LIBERTYが今回発売されます。

このPRIDE LIBERTYは、PRIDEシリーズではおなじみとなっているドミニオンコアを心臓部に収め、新しく採用されたカバーストックDYNAMIC PROPULSION HYBRIDを搭載しています。今まで発売されてきたPRIDEシリーズはどれも評価が高く、各々の領域で抜群な仕上がりではありましたが、これ程までにコアとカバーストックの相性が良いボールはMOTIV史上のなかでも1・2を争えるほどで、完成度が高く、スキッド、キャッチ、転がり、ピンキャリーに至るまで、とにかくトータルバランスが素晴らしい出来です。

DYNAMIC PROPULSION HYBRIDはミディアム領域ながらMOTIV社の中では4番目に強いカバーに位置付けられている素材で、HybridとSolidのちょうど中間の特性を併せ持ち、エネルギーを持続的に放出しながら転がり続けるリアクションを感じることができます。そのスキッドとキャッチが絶妙で、ややオイルが多いパターンからややドライ気味のコンディションまでをカバーします。強いカバーならではのミッドエリアの安定感と終わることのない持続的な曲がりは非常にラインが取りやすく、オイルを的確に判断でき、幅広いコンディションへの対応を可能にしてくれるでしょう。

## 特記事項

**幅広いコンディションへの対応が可能で、オイルの濃淡を的確に判断できるベンチマーク的な役割を果たす、高性能、高品質のボールです。**